

広島ユネスコ協会 2017 年度総会を開催

広島ユネスコ協会は、去る5月13日に広島国際会議場研修室において2017年度の総会を開きました。

開会に当たって亀井章会長が、「今年は、日本が世界に先駆けて UNESCO の民間運動を立ち上げて 70 周年になります。これを機に、日本ユネスコ協会連盟は『指針と展望』と『使命と責務』を発表しました。中身は『核兵器のない、紛争のない世界を希求する平和な世界の実現』と『ESD（持続可能な開発のための教育）を生涯学習の柱に次世代育成に努める教育実践』です。これが今後の 10 年間の国内ユネスコ運動の目標です」とのアピール文を寄せるとともに、挨拶でこの精神、目標を踏まえて真剣な議案審議をお願いしたいと要望しました。

総会では各専門部会から、16年度の事業報告に次いで、17年度の事業計画案が紹介され熱心に意見を交わしました。審議を経て、●青少年対象の語学等講座の実施（市青少年センターと共催）、●高校生国際理解セミナーの開催、●高校生コーアクション（世界寺子屋運動街頭募金活動）の展開、●青年部の育成支援、●ユネスコ活動奨励賞の事業実施、●ユネスコサロンの開催、●韓国ユネスコ大邱協会への友好親善訪問、●「平和の鐘」の集い実施、●機関紙の発行など、多彩な活動・事業を承認し、新たなスタートを切りました。

